

経営戦略(令和5年3月改定予定)概要資料 令和4年11月 津軽広域水道企業団西北事業部

【経営戦略改定のポイント】

- 令和3年度の料金改定及び受水開始に伴う経営状況の変化を反映し、令和5年3月に経営戦略を改定し、令和5年度から令和14年度までの10年間を計画期間とする予定。
- 令和3年度の料金改定における算定期間(令和3年度から令和7年度)では、受水に係る施設の除却もあり、一部の年度で経常損益や当年度純利益は赤字となる見込み。
- 令和8年度以降は、令和9年度を除き経常損益や当年度純利益は黒字となる見込み。しかし、今後も燃料・資材価格の高騰などの状況の変化が予想されることから、管理指標などを利用し、一層の経営改善に努めるとともに、経営戦略を定期的に見直し、次期水道料金算定期間(令和8年度から令和12年度を予定)における水道料金水準についても検討していく予定。

(1) 経営戦略の改定について

- 平成29年3月の経営戦略策定後の水道料金改定や受水開始など大きな経営環境の変化を背景に、令和5年3月に経営戦略を改定予定。
- 改定後の経営戦略の計画期間は、令和5年度から令和14年度までの10年間を予定。

《料金改定答申時(平成30年7月)の財政見通し》

項目	算定期間										(単位:百万円)		
	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
収益的収入	904	895	893	892	892	1,072	1,082	1,431	1,422	1,404	1,403	1,402	1,401
料金収入	792	784	776	768	761	801	803	812	804	796	788	780	773
補助金	47	48	50	55	60	75	80	425	422	411	416	421	427
収益的支出	837	885	863	869	873	1,401	1,252	1,246	1,244	1,243	1,249	1,248	1,248
受水費	0	0	0	0	0	269	269	270	269	268	267	266	265
経常損益	67	10	30	23	19	△329	△170	185	178	160	154	154	154
当年度純利益	67	10	30	23	△780	△329	△170	185	178	160	154	154	154
資本的収入	1,330	1,644	1,960	1,884	1,938	408	416	287	287	287	287	287	287
企業債	406	456	683	652	652	164	164	164	164	164	164	164	164
資本的支出	1,703	2,316	2,354	2,282	2,345	823	843	824	825	829	844	841	843
企業債償還金	236	253	270	289	315	330	350	331	332	335	350	348	350
資本的収支の不足額	372	672	394	398	407	415	427	537	537	541	556	554	556
対照表 貸借 現預金残高	1,743	1,341	1,261	1,169	1,063	842	772	946	1,114	1,263	1,393	1,529	1,668
企業債残高	5,885	6,088	6,501	6,865	7,202	7,037	6,851	6,684	6,517	6,346	6,160	5,977	5,792

《経営戦略(令和5年3月改定予定)の投資・財政計画》

項目	算定期間										(単位:百万円)						
	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
収益的収入	904	896	890	886	886	922	1,060	1,084	1,381	1,354	1,354	1,356	1,358	1,359	1,361	1,362	1,360
料金収入	792	785	771	762	757	795	806	791	789	787	785	782	780	777	775	773	770
補助金	47	47	48	48	49	48	46	87	383	358	359	362	366	367	369	373	377
収益的支出	837	844	841	848	835	1,033	1,396	1,338	1,338	1,339	1,343	1,344	1,347	1,354	1,358	1,359	1,348
受水費	0	0	0	0	0	272	288	284	284	284	284	284	284	284	284	284	283
経常損益	67	52	49	39	51	△111	△337	△254	43	15	11	12	11	5	3	3	13
当年度純利益	67	52	69	39	51	△852	△355	△446	43	△36	11	△161	11	5	3	3	13
資本的収入	1,330	1,639	2,025	2,429	3,165	1,154	477	330	326	325	304	304	304	304	303	301	341
企業債	406	456	681	800	815	358	238	218	218	218	218	218	218	218	218	218	245
資本的支出	1,703	2,295	2,512	2,884	3,708	1,610	891	834	837	850	873	883	886	886	878	884	920
企業債償還金	236	253	270	289	315	330	350	333	336	349	372	382	385	385	377	380	364
資本的収支の不足額	372	656	487	455	544	456	414	504	511	525	569	578	582	582	576	583	579
対照表 貸借 現預金残高	1,743	1,363	1,205	999	339	1,018	804	386	460	444	439	258	249	239	240	237	243
企業債残高	5,885	6,088	6,499	7,010	7,511	7,539	7,428	7,312	7,193	7,062	6,908	6,743	6,575	6,408	6,248	6,085	5,966

(2) 経営改善の取組について

- 平成29年3月の経営戦略策定の前後から、経営改善の取組は進めてきているものの、人口減少、有収水量の減少が進む中、漏水箇所の多発や職員の高齢化、管路の更新需要の増加などの課題に対応し、一層の経営改善に努めていく。

【これまでの取組】

- 平成27年度 アセットマネジメント導入
- 平成29年度 水道ビジョン策定
- 平成30年度 水道料金検討審議会開催
- 令和3年度 料金改定(所要改定率5.7%)
- 令和3年度 受水開始
- 令和3年度 水道未普及地域の水道管整備
- 令和4年度 水道料金徴収事務等包括委託
- その他 マッピングシステム導入、再任用職員の活用、災害時における連携強化など

【今後の取組】

- 高料金対策繰入金の活用(令和5年度～)
- マッピングシステムを活用したアセットマネジメント計画及び更新需要の見直し
- 工事規模や発注時期の見直しによる整備費増加の抑制
- 水道料金徴収事務等包括委託について、さらなる包括委託の拡大の可能性の検討
- 受水開始に伴い使用しない資産の除却、有効活用の可能性検討
- 未普及解消地域の新規加入促進

(3) 計画の運用

- 今後は料金算定期間に合わせた見直しを予定している。令和5年3月以降は、令和3年度の料金改定の算定期間が令和7年度に終了するため、令和8年度からの10年間を計画期間に見直しを行う予定である。
- ホームページや経営審議会を通じた情報公開を進めるとともに、水道ビジョンと連動した管理指標を定め、達成状況に基づく進捗管理を行います。

《管理指標》

水道ビジョン基本方針	管理指標	H28	R3	R7	R12
		実績	実績	目標	目標
Ⅰ 経営体制の充実・強化	企業債残高対給水収益比率(%)	740.2	948.7	888.0	780.0
	外部研修時間(時間/人)	0.3	1.2	1.3	1.5
	技術職員率(%)	64.0	63.2	50.0	50.0
Ⅱ 水質の維持向上	平均残留塩素濃度(mg/L)	0.50	0.49	0.30	0.20
Ⅲ 災害に強い仕組みづくり	管路の更新率(累計)(%)	1.79	8.23	15	20
	有収率(%)	83.04	78.05	83.00	85.00